

## CSRマネジメント

### CSRの基本方針

日本ケミコングループは、公正・透明で自由な商取引を通じて、広く社会に貢献できる企業として活動することを目的に「日本ケミコングループ企業行動憲章」として基本方針を策定し、2003年に社内外に宣言しました。

この企業行動憲章の精神をもとに、日本ケミコングループに携わる役員・従業員たちが、日頃、企業活動を行うにあたり、意識しなければならない心がけを「日本ケミコングループ行動規範」としてまとめています。グローバルな視点のもと、国際社会との調和を図りながら、地域社会などのステークホルダーをはじめ、世界の人々の生活に貢献できる製品とサービスを提供する企業として、各国の法令を遵守することはもちろん、確固とした企業倫理と高い社会的良心を持って、誠実な活動を日々実践しています。

### CSR活動の位置付け

日本ケミコングループは、単に利潤を追求するだけでなく、企業としての社会的責任を果たし、広く社会に貢献するために、CSR活動を経営活動において重要な基軸と位置付けています。

### CSR推進体制

日本ケミコングループは、CSR推進体制の事務局を日本ケミコン管理部内に設置し、各部門および各事業所と連携を図りながら、その具体的な活動を実施しています。

単なる会社だけの取り組みではなく、例えば、地域社会への貢献に関する事項では、労働組合の活動とコラボレーションし、プルタブ回収による車椅子の購入やペットボトルキャップの回収による開発途上国へのワクチン提供、衣服の開発途上国への援助などを実践しています。

また、従業員やその家族の健康管理を意識したヘルシーカンパニーへの取り組みを2014年から開始し、従業員とその家族が明るく、元気に生活できるように、従業員家族を含めた活動も展開しています。

### 国連グローバル・コンパクトへの参加

日本ケミコングループは、2012年1月26日、国連グローバル・コンパクトに支持を表明し、参加しました。この国連グローバル・コンパクトは、「人権・労働・環境・腐敗防止」の4つの分野に関する普遍的な10項目の原則からなるものです。日本ケミコングループは、国連グローバル・コンパクトの10原則を日常の事業活動に取り入れることで、より高いレベルでの社会的責任を果たす経営を実現し、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えできるよう、誠実に取り組んでいます。

### 国連グローバル・コンパクト10原則

- 1 企業は、**原則 1** 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、  
**原則 2** 自らが人権侵害に加担しないように確保すべきである。
- 2 企業は、**原則 3** 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、  
**原則 4** あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、  
**原則 5** 児童労働の実効的な廃止を支持し、  
**原則 6** 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
- 3 企業は、**原則 7** 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、  
**原則 8** 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、  
**原則 9** 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
- 4 企業は、**原則 10** 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。



### SDGs

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げた「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献を目指します。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

